

私たちの歴史
SHOIN点描



先進の女子教育の旗手として

学制改革の下、1949年に発足した大阪樟蔭女子大学。国文学科、英米文学科、食物学科、被服学科、児童学科の5学科を擁する4年制の学芸学部と、生活専修・被服専修からなる2年制の別科が置かれました。“個性を尊重し、自由で伸びやかな校風”の伝統はそのままに、先端の学習環境を整え、女性としての豊かな品性と技能の養成をめざす最高学府として、ゼミ・演習を中心とした少人数教育をいち早く実施。知・情・意兼備の豊かな女性の育成を目指して、高度な専門分野の教育・研究をスタートさせました。大学開学の翌々年（1951）には、幼稚園が開園し、樟蔭学園は総合学園としての、新たな一歩を踏み出しました。

1950 総合学園の黎明期^{れいめい}

くすのき

Shoin Gakuen
90th
ANNIVERSARY



樟蔭学園報 Vol.154

大阪樟蔭女子大学・大阪樟蔭女子大学短期大学部・樟蔭高等学校・樟蔭中学校・大阪樟蔭女子大学附属幼稚園



新たに登録文化財となった樟古館

2007年度	新中学・高校校長よりご挨拶	1
	こもれびの窓 ● 作家 田辺聖子	7
	[90周年企画] 樟蔭の思い出	9

2007年、樟蔭学園は創立90周年を迎え、新しい時代に向けてさらに力強い歩みを続けていきます。



新任教員紹介／人事異動	1
レポート ● 公開講座「糖鎖と健康」谷口直之	3
SHOIN LABO ● [[子どもの発達を調査・研究すること]で見えること] 菊野春雄	5
NEWS ● 教職員と学生等の活動報告	10
INFORMATION ● 参加イベントのお知らせ	12
we are Now ● 各校行事など	15
SHOIN点描 ● 1950年総合学園の黎明期	19

題字：大学 宮崎彰夫教授（旧展会員／雅号・葵光）

新 中学・高校校長よりご挨拶・・

樟蔭の誇りを大切に

森 眞太郎



4月より中学校、高等学校の校長に就任いたしました。理事長職との兼務となりますが、全力を尽くす所存ですのでよろしくお願いいたします。

平成19年度の入学状況は、中学が170名（昨年比28名増）、高校326名（昨年比30名減）で、少子化、共学志向が強まる中、生徒確保の面において厳しい状況が続いております。

府立高校における特色づくりや学区再編、私立高校における専門学校的なコース（美容、看護、保育など）の設置など、公立、私立ともに、生徒確保のための特色づくりに懸命であります。

そのような状況の中で、樟蔭がどのような特色を出していくのかですが、偏った職業教育的なものではなく、従来からの教育目標である、①基礎学力の向上②基本的な生活習慣の習得の2点の徹底につきとを考えます。

この2点の徹底の上に、6年一貫体制を特進コースのみならず、総合コースにも広げ、6年間での効率良い、計画性のある授業、楽しく解りやすい授業を展開し、さらなる学力の向上を図っていきたいと考えています。

また、生活指導面においてもご家庭との協力の下に、世間から「さすが樟蔭生」と言われる生徒に育てていかねばなりません。

保護者が安心してお嬢さんを預けられる学校、生徒にとって学校に通うことが楽しく、誇りが持てる学校にしていきたいと思ひます。皆様のご理解とご支援をお願いいたします。

新任教職員紹介

学芸 英文文 講師 Ann Mayeda(アン・マエダ)



I'm very happy to able to join the English Department full-time this year and look forward to working with both staff and students alike ! When I'm not teaching, you can find me in the SAC. Please drop in anytime.

学芸 被服 教授 末廣 祥二(すえひろ しょうじ)



赴任して数日ですが90年の伝統を感じます。被服の素材を通じて科学の面白さを、また最新のAPARHEL技術をお伝えできればと思います。

学芸 インテリアデザイン 教授 小原 陽二郎(おはら ようじろう)



大学で学ぶ知識や技術は一つの入口に過ぎません。自力で未来を切り拓く能力を養うため、私も全力を尽くします。

人間 児童 教授 西中 隆(にしなか たかし)



充実した美しいキャンパスで、夢の実現に向けて学ぶ皆さんに、役立つ授業を提供するため、全力投球でのぞみたいと思います。

高校 英語 講師 原 万里子(はら まりこ)



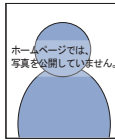
英語教育を通し、さまざまな価値観や文化的差異を尊重し合える社会の形成に貢献できる人を育てていきたいです。

幼稚園 講師 渡辺 翔子(わたなべ しょうこ)



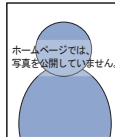
初めてのことでばかりで緊張していますが、毎日子どもの笑顔や笑い声が絶えることのない先生になりたいです。

学芸 食物栄養 准教授 安藤 真美(あんどう まみ)



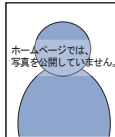
明るく楽しい雰囲気作りを大切にしながら教育・研究を行っていききたいと思います。よろしくお願いいたします。

学芸 被服 准教授 伊豆原 月絵(いずはら つきえ)



伝統ある樟蔭学園の教員として女子教育に携われることは、誠に光栄です。どうぞ、ご指導ご鞭撻のほどお願いいたします。

教養 講師 Brian Gregory Dunne(ブライアングレゴリーダン)



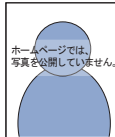
皆さんが本当に使える英語力を身につける大きさは格別です。建学の精神を胸に、力のある教員養成に邁進したいと思います。

人間 児童 教授 佐藤 榮一(さとう えいいち)



21世紀を背負う若人へ教育を語る意義の大きさは格別です。建学の精神を胸に、力のある教員養成に邁進したいと思います。

中学 養護 講師 朝倉 好絵(あさくら よしえ)



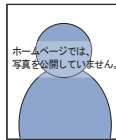
先生方から、また生徒たちから学べる機会をいただき、一日一日を大事にして一生懸命日々勉強していきたいです。

幼稚園 講師 津地 扶佐子(つち ふさこ)



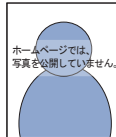
かわいい園児たちと、元気いっぱい笑顔いっぱい幼稚園生活を過ごしたいと思います。よろしくお願いいたします。

学芸 食物栄養 講師 吉田 智子(よしだ さとこ)



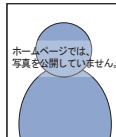
社会全体で「食」の大切さに対する意識が希薄になってきています。健全な食生活の実践力を育成したいです。

学芸 被服 講師 玉置 育子(たまき やすこ)



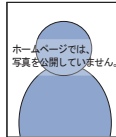
化粧文化専攻を皆様のお力添えをいただきながら、作り上げていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

人間 心理 教授 田川 元康(たかわ もとやす)



学園のモットーであるとお聞かしている「社会に貢献する人材の育成」の一端を担うことができれば幸いです。

高校 社会 講師 吉村 浩二(よしむら こうじ)



教員の仕事も社会人も初めてですが、まずは少しでもおもしろい授業ができるよう日々努力していきます。

幼稚園 講師 飛塚 雅(とびつか みやび)



子どもたちの笑顔が引き出せるように、笑顔がいつも絶やさないように頑張っていこうと思います。

小阪 入学課 統括課長 寺田 昌弘(てらだ ますひろ)



募集環境の厳しい時だからこそ、やりがいもあり、情熱を持って、学生確保に取り組む所存です。ご協力の程よろしくお願いします。

関屋 入学課 係員 西田 佳弘(にしだ よしひろ)



大学全入時代、責任感と熱意を持ち、全力で学生募集に取り組んでいきたいと思ひます。よろしくお願いいたします。

関屋 学術振興課 係員 田中 恵子(たなか けいこ)



学生時代にお世話になった樟蔭で働くことができ、嬉しく思っています。日々学んで成長していきたいです。

小阪 ITセンター 係員 乾 裕紀子(いぬい ゆきこ)



初めてのことに戸惑うことが多くあると思ひますが、頑張って仕事を覚えていきたいと思ひます。

学芸 ライフプランニング 教務助手 安部 晴子(あべ はるこ)



先生方、学生さんとともに新しい学科を盛り立てていきたいと思ひます。よろしくお願いいたします。

関屋 修学支援課 係員 藤堂 菜美子(とうどう なみこ)



まだまだ未熟者ですが、「いつも笑顔」をモットーにして頑張ります。よろしくお願いします。

小阪 学術振興課 係員 吉野 伊津子(よしの いつこ)



新設された学術振興課を担当させていただきます。お世話になった樟蔭のお役に立てるよう務めたいと思ひます。

中高幼事務室 係員 布施田 裕樹(ふせだ ひろき)



4月よりお世話になります。布施田と申します。見たままの体育会系で体力が明るさが取れ得です。

学芸 食物栄養 教務助手 蒲田 百々子(かばた ももこ)



充実した学生生活を過ごした樟蔭に勤務することとなり、喜びでいっぱいです。一期一会を大切に勤めて参ります。

関屋 ITセンター 係員 齋藤 年隆(さいとう としか)



学生の皆さんが楽しく勉強でき、先生方が思い切り研究に打ち込めるよう、裏方としてお役に立てれば幸いです。

小阪 ITセンター 係員 高田 順子(たかだ じゅんこ)



大好きな樟蔭で働くことになり、とても嬉しいです。がんばりますのでよろしくお願いします。

学芸 食物栄養 教務助手 山本 早紀子(やまもと さきこ)



樟蔭に通って11年目になります。今までに学んだことを活かして頑張りたいと思ひます。よろしくお願いいたします。

学芸 インテリアデザイン 教務助手 田頭 理沙(たがしら さ)



学生として4年間過ごしたこの樟蔭で、また新たに職員として働けることを嬉しく思っています。学生が楽しい学校生活を送れるように頑張りますので、よろしくお願いします。

人事異動

退任(2007.3.31付)							
●理事 藤川 保	●大学・短大部 藤田貴子 前川輝彦 越井郁朗 中西正三	山崎三津子 ●教務助手 村上ゆき 任用(2007.4.1付)	岩村研志 吉田拓也 ●中学／教諭 犬塚智子 下井田由美子	藤原俊治 岩田滋之 高木乃江 廣畑 尚	吉川 淳 昇任(2007.4.1付)	●大学事務局 修学支援課 統括課長 井貝正世 入学課 統括課長 寺田昌弘 学術振興課 統括課長 吉田敏之 学生支援課 課長代理 幸西雄一郎 修学支援課 主任 磯田江利子	
●評議員 藤川 保 越井郁朗 辰馬价子	●高校 中野 衛 藤川 保 吉川俊彦 中谷美佐子	●役職 高校／校長 森 眞太郎 中学／校長 森 眞太郎	職員 ●教務助手 松岡奈津子 松谷奈緒美 異動(2007.4.1付)	職員 ●大学事務局 庶務課(関屋) 桑 幹夫 修学支援課(関屋) 下山貴宏 入学課(小阪)	辻 壽一 鎌倉 健 岩崎正子 桶谷弘美 山崎晃男 高橋晴子 門 正博		
●役職 高校／校長 藤川 保 中学／校長 藤川 保	●中学 永田久美 津田佐知子	●採用(上記の新任教職員紹介掲載外)(2007.4.1付)	教員 ●短大部 植原みずす 呉 知恩 中井 歩 ●高校 増井 崇 中野達也 ●中学	●異動(2007.4.1付) 教員 ●短大部 学生支援課(小阪) 幸西雄一郎 進路支援課(小阪) 海老山道男 学術振興課(小阪) 吉田敏之 学術振興課(関屋)	●大学・短大部／准教授 奥田 亮 坂田浩之 佐久田祐子 呉 知恩 中井 歩 職員	その他 平成19年4月1日を以て、学校教育法の一部が改正され、大学教員組織が変更されることとなり、「助教授」が廃止され「准教授」が置かれることとなりました。これにより、「助教授」に任じられている大学教員について、4月1日付で「准教授」として発令換えを行っています。一対象者の記載略一	
退職 (2006.12.31付)	●幼稚園 辻田万利子						
職員 ●事務職員 清水龍彦 (2007.3.31付)	職員 ●事務職員 浜田穂代 ●事務助手						
教員							

退職にあたって・・

39年間を振り返って

前 中学・高校校長
藤川 保



お世話になった樟蔭を退職するにあたり、お世話になりました皆々様に厚くお礼申し上げます。私が樟蔭に勤めましたのは、39年前。当時は、大阪の女子校の中でも三本の指にはいる実力人気校でした。受験勉強に偏らないカリキュラムで、全員の生徒に、「数学Ⅲ」を履修させていました。これは驚くべき事でした。生徒たちにも、余裕があって、仕事も落ち着いて、何ともいえない良さがありました。その後10年位して、東京に教務関係の研修に行った際、そのときの話は、これからの私学は、「うちの学校はこんな教育をしています。その教育に賛同するのなら入学してください」という時代から「世間の親や子供は学校に何を求めているのか。そのニーズに合う教育をします」に変わらなければ生徒が集まらないと強調していました。それから約30年、我が樟蔭は、上手く脱皮できたのでしょうか。良いものは残しつつ、独りよがりにはならず、常に魅力ある学校であり続けてほしいと思ひます。通っている生徒には、誇りが持てる学校で、世間からは、憧れを持ってもらえる学校であってほしいと切望いたします。

慶弔

ご結婚 おめでとうございます
●●●●氏(中学・英語科教諭)は、平成18年12月5日ご結婚され、●●●●姓になられました。
●●●●氏(中学・数学科教諭)は、平成18年12月24日ご結婚されました。
●●●●氏(大学・学芸学部准教授)は、3月18日ご結婚されました。
●●●●氏(大学図書館分館・主任)は、4月3日ご結婚されました。

ご出産 おめでとうございます
●●●●氏(高校・理科教諭)は、平成18年12月18日、長男●●くんがご誕生です。

お悔やみ
●●●●さん(短大・名誉教授) 2月5日 享年83歳
●●●●さん(大学・学芸学部教授 ●●●●氏のご尊父) 4月6日 享年89歳
●●●●さん(法人・経理課 ●●●●氏のご尊父) 4月15日 享年65歳



谷口直之

大阪大学微生物病研究所寄付研究部門教授／大阪樟蔭女子大学大学院人間科学研究科人間栄養学専攻 客員教授／日本学会議員／医学博士
1942年東京生まれ、札幌で育つ。1967年、北海道大学医学部卒業。1968年、同大学大学院医学系研究科入学。
1972年、医学博士。1973年、同大学医学部衛生学助手、講師を経て1976年、コネル大学医学部生化学客員助教授。
1977年、北海道大学大学院環境科学研究科環境医学助教授。1979年、同大学医学部癌研究施設生化学部門助教授。
1986年、大阪大学医学部生化学教室教授。2006年同退官し、現職。
21世紀COEプログラム拠点リーダー、科学技術振興機構CREST研究総括などのさまざまな研究プロジェクトの代表を務める他、国内だけでなく国際的な学会(Symposium)の要職も務められて、2001年International Glycoconjugate Organization(IGCO) Award(国際複合糖質連合賞)、2002年武田医学賞、2005年紫綬褒章などの数々の賞を受賞。

遺伝子作り出すタンパク質の本当の働きの解明と、病気のメカニズムの解明、治療法の開発のかぎを握るものが糖鎖です。

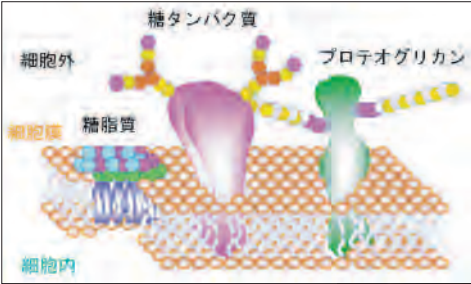
講演では、遺伝子やたんぱく質と糖鎖との関係、糖鎖の働きや病気との関連などについて、一般参加者向けと専門家向けに、内容のバランスを取りながら講演していただきました。ここでは、主に一般参加者向けにお話いただいた点を中心に紹介させていただきます。

遺伝子は生命の設計図

糖鎖について話す前に、まずは遺伝子の説明から始めたいと思います。身体や生命の設計図である遺伝情報を持っているのは細胞の中のDNA(デオキシリボ核酸)という物質ですが、DNAには4種類の塩基と呼ばれる部分が含まれています。遺伝情報は、この4種類の塩基の配列に記録されているのです。世界中でさまざまな生物のDNAの塩基配列を明らかにするというゲノムプロジェクトが進んできましたが、人間の塩基配列も2003年には全てが判明しました。それによって、文字に換算すると30億文字に相当する情報が人間の遺伝子に組み込まれていることが分かりました。新聞に例えると、およそ50年分に相当する情報量がDNAの中に組み込まれていることになります。遺伝子の研究が進むにつれて、人々の体質の違いにも遺伝子が大きく関わっていることが分かってきています。例えば、特定の病気になりやすい人とそうでない人、薬の効きやすい人とそうでない人など、人々の体質の違いには遺伝子が影響しているのです。

多様な役割を持つタンパク質

続いてタンパク質の話に移ります。タンパク質というのは、遺伝子を作り出す産物であり、アミノ酸が鎖状に繋がったものです。タンパク質は10万種類以上とも言われており、タンパク質の種類によってさまざまな働きを持っています。骨や皮膚などの身体を作るもの、身体の代謝を促すための酵素として働くもの、ホルモンなどのように情報を伝達するものなど、タンパク質は身体にとって非常に重要で多様な役割を持っています。そのため、タンパク質の異常が病気を引き起こすことがあります。その代表的な例が癌です。生物にはもともと癌細胞を抑制する遺伝子がありますが、その遺伝子を作り出すタンパク質



糖鎖はさまざまな生体成分に含まれる

がうまく機能しないことによって癌細胞が増殖してしまうのです。またALS(筋萎縮性側索硬化症)という進行性の難病がありますが、この病気は遺伝子の異常により特定のタンパク質が変異してしまうことで発病することが分かっています。このように、タンパク質は人間の健康に大きく関わっており、最近ではタンパク質の研究が非常に盛んになってきています。

血液型は糖鎖が決める

ここまで遺伝子とタンパク質についての説明を行ってきましたが、ここからは糖鎖の研究がなぜ重要であるのかを説明したいと思います。糖鎖とは単糖と呼ばれる小さな糖が鎖状に繋がったものです。ある糖鎖はタンパク質の表面にくっつき、いわばタンパク質の服のようなものとして存在します。これまではタンパク質本体だけの研究が進んでいましたが、タンパク質の服である糖鎖を研究しなくてはタンパク質の本当の働きを解明することはできません。またある糖鎖は髭のように細胞の表面にある細胞膜にくっつき、さまざまな働きをしています。糖鎖の話で皆さんに一番親しみを感じていただけの血液型がこの例です。一般的によく使われるABO式の血液型の違いは、赤血球の表面から出ている糖鎖(髭)の構造が違うことから生じています。世間では血液型による性格判断などが多く聞かれますが、それに関しては全く科学的根拠が示されておりません。しかし、特定の血液型の人だけが感染しやすい細菌も発見されており、病気や細菌感染に関してはある程度血液型による傾向の違いがあると

言えるかもしれません。



なぜ今、糖鎖の研究が重要か

例えば、インフルエンザの治療薬開発では糖鎖の研究がとても重要です。インフルエンザへの感染には糖鎖が深く関わっており、ウイルスが体内で増殖するためには細胞表面の糖の鎖を切る酵素が必要であることが分かっています。インフルエンザの特効薬として有名なタミフルという薬はこの酵素を抑えることによって、ウイルスの増殖を抑えているのです。

また、癌が転移するメカニズムにも糖鎖の働きがあることが分かっています。マウスを使った実験では、転移しやすい悪性の癌細胞の糖鎖を変化させることによって転移を抑える効果も確認されています。糖鎖は癌を診断するための腫瘍マーカーとしても利用されています。腫瘍マーカーとは、血液検査や尿検査によって体内に癌が発症しているかどうかを判断するための目印(マーカー)となるものです。腫瘍マーカーを糖鎖のレベルまで調べれば、癌であるかどうかが高い確率で判定可能なことが分かってきました。抗体医薬の研究でも糖鎖研究が重要です。抗体医薬とは、癌細胞や病原菌などの特定の細胞や組織だけに効果のある抗体を投与、あるいは発生させることにより、乳癌や白血病などの悪い細胞だけを破壊することを狙った薬です。これらの研究にも糖鎖が非常に重要な役割を果たしています。

また、糖鎖が直接関わっている病気も分かってきました。先天性糖鎖不全症や先天性筋ジストロフィー、肺気腫、Ⅱ型の糖尿病などは糖鎖の異常が原因で生じる病気であることが分かっています。これまでは、遺伝子やタンパク質の研究に注目が集まっていましたが、遺伝子やタンパク質の研究だけでは全ての病気の原因を解明することはできません。これらの病気のメカニズムの解明や治療法の開発に、これからは糖鎖の研究がますます重要になってくるでしょう。(この文章は谷口直之氏の講演を法人本部企画広報室がまとめたものです)

これからの予定

公開講演会

近松の世界「曾根崎心中」を中心に

講師：阪口 弘之氏(大阪市立大学名誉教授)

日時：9月29日(土)14:00～16:00 お問い合わせ：国文学科研究室 TEL.06-6723-8292

公開講座

大阪の天神祭と女性—4年間の調査をもとに—

講師：高島 幸次氏、堀 裕氏、中本 剛二氏、本多 彩氏、武士 綾子氏、諏訪 柚子氏等

日時：5月26日(土)10:00～12:30 お問い合わせ：日本文化史学科事務センター TEL.06-6723-8163

歴史文化講座 鎌倉幕府と畿内

講師：川合 康氏(東京都立大学教授)

日時：6月23日(土)15:00～17:00 お問い合わせ：国文学科研究室 TEL.06-6723-8292

歴史文化講座 ええじゃないか—大坂とその周辺

講師：田村 貞雄氏(静岡大学名誉教授)

日時：7月14日(土)14:00～16:00 お問い合わせ：国文学科研究室 TEL.06-6723-8292

第4回樟蔭ファッションセミナー 「ファッション製品—品質管理の最前線」(仮題)

講師：(株)レナウン 相馬 成男氏

日時：7月28日(土)14:00～16:00 お問い合わせ：樟蔭ファッションセミナー事務局 TEL.06-6723-8227

あなたの知らない低温の世界

講師：安藤 真美氏(被服学科准教授)

日時：9月15日(土)14:00～16:00 お問い合わせ：学術振興課 TEL.06-6723-8237

広告から見た戦後史

講師：秋山 恵一氏(ライフプランニング学科教授)

日時：9月22日(土)14:00～16:00 お問い合わせ：ライフプランニング学科事務センター TEL.06-6723-8207

会場：小阪キャンパス／受講料：無料／申込み：必要／申込締切：講座前日

＜上記各講座のお申込み方法＞

ハガキまたはFAXにて、お申込みください。氏名(フリガナ)、住所、電話番号、ご希望の講座名をご記入いただき、宛先に各講座のお問い合わせ先を明記の上、お申込みください。なお受講許可証等はお送りしませんので当日会場へお越しください。

大阪樟蔭女子大学(+各お問い合わせ先) 〒577-8550 東大阪市菱屋西4-2-26 FAX.06-6723-8348

公開講座

『学校教育での音楽は「音が苦」ですか?』

日時：8月4日(土)14:00～16:00

講師：楠谷 弘美氏(児童学科教授)

場所：関屋キャンパス

対象：一般成人及び学生／受講料：無料

申込：ハガキまたはFAXにてお申込みください。

住所、氏名(フリガナ)、電話番号と公開講座参加希望の旨を明記してください。なお受講許可証等はお送りしませんので当日会場へお越しください。

締切：8月3日(金)

キッズルームの：キッズルームご利用希望の方は下記締切日までにお申込みください。お申込みの際には必ずお申込み 『キッズルーム希望』と明記し、お子さまのお名前(ふりがな)と年齢(月齢)を記載ください。〔キッズルーム申込締切:平成19年7月31日(火)〕

お問い合わせ：大阪樟蔭女子大学 学術振興課 (関屋キャンパス)

〒639-0298 香芝市関屋958 TEL.0745-71-3168 FAX.0745-71-3141

「地球を聴く」第9回レクチャーコンサート

『世界最初の電子楽器「テルミン」』

日時：7月21日(土)もしくは28日(土)14:00～15:30

講師：山崎 晃男氏(児童学科教授)他

場所：関屋キャンパス

受講料：無料 子ども同伴可

申込：ハガキまたはFAX、E-mailにてお申込みください。なお参加証等はお送りしませんので当日会場へお越しください。希望者多数の場合、後からお申込みの方にはやむをえずお断りのご連絡をすることがあります。

締切：講座3日前

ハガキ：〒639-0298 奈良県香芝市関屋958 大阪樟蔭女子大学人間科学部 山崎研究室

E-mail：yamasaki@gamelans.org

お問い合わせ：児童学科研究事務局 TEL.0745-71-3159 FAX.0745-71-3149



大阪樟蔭女子大学 人間科学部 児童学科教授
 大阪教育大学大学院教育学研究科修士課程で教育心理学を専攻、筑波大学で博士(心理学)、ノッティンガム大学でPhDを取得。
 東大阪教育研究所研究主事・大阪薫英女子短期大学助教授・大阪教育大学助教授を経て2001年より現職。
 大阪樟蔭女子大学附属幼稚園園長・評議員を歴任。2006年より児童学科長。
 日本心理学会・日本教育心理学会・日本保育学会・日本乳幼児教育学会(副会長)・日本発達心理学会・関西心理学会・日本法と心理学会・CRACR所属
 「発達心理学」「アエラムックー犯罪学への招待」「Children's Reasoning and the Mind」「嘘をつく記憶」など著書・論文多数

「子どもの発達を調査・研究すること」で、子どものさまざまな面が見えてきます。

他人の心や気持ちを推し量れず、良好な人間関係を構築できない、円滑なコミュニケーションを図れない人が、世代や年齢を問わず増えているともいわれる現代。心の理論——人の気持ちをどのように理解し認知しているのかを情報処理の立場からとらえ、幼児が他者の気持ちを理解し推測するメカニズムを、誤信念、嘘と騙し、ふり遊び、冗談の理解、共同注視などさまざまな視点から考察し、30年以上にわたり認知発達心理学を研究、次世代の教育人材育成に力を注がれている菊野先生にお話をうかがいました。

現場を体験し、プロセスを知ること
 保育者に必要なことを学んでいきます。

フロイトの精神分析をきっかけに心理学に興味を持ち、研究を始めてから30年以上のときが経過しました。ここまで続けてこられたのは、“おもしろさがあるから”にほかなりません。難解だけど飽きない学問ですし、次々と新しいことが発見されているからです。元来、他人と違うことをするのが好きだったこともあるでしょう。なかでも、専門としているのが、認知発達心理学です。これは、発達を認知という情報処理の観点で見えていくものです。私のゼミでは、幼稚園や保育所の協力を得て、子どもの発達に関する調査を行っています。学生は、絵や言葉を使った心理実験を子どもたちに実施し、その結果を考察し結論づけるという、心理学の一般的な流れを経験し、論理的に考えるプロセスを学びます。さらにそれが、将来自分たちが保育者や教師になった際に、どう伝えるかということにもつながっていきます。

実験結果が予想を超えることは
 珍しいことではありません。

調査・実験から得られることは、とてもたくさんあり、なかでも失敗から学ぶことも数多くあります。実験方法を間違えてしまったケースでは、その結果にこれまでとは違った新しい発見があったりもします。実験前の予想と実験結果の相違には、人間や自然の偉大さを感じるこ



ともあります。緻密に考えた末に出した結論と実際とのギャップを目の当たりにするほど、人の気持ちの理解が何につながるかを知りたくなります。絵と言葉の研究で、文章と関連する絵を見せた場合と無関係な絵を見せた場合、どちらが理解する力が高まると思いますか？ 答えは後者です。“何でこの文にこの絵なのか？”と考えることが大きく関連しているのです。また別のケースでは、500人の被験者に実験を試みたところ、ほとんど差が出なかったということもありました。その予想外の結果に、人間

のおもしろさを感じずにはいられませんでした。ところで、現カリフォルニア州知事のアーノルド・シュワルツェネガー主演の映画『ターミネーター』には、緻密なロボットが登場します。しかし、必ず高度で緻密なはずのロボットが最後にだまされて負けてしまいます。これは、心の理論のプログラムである人の気持ちを推測する力がないからです。人間には、言葉の行間を理解する力があります。相手の心・気持ち、行動の法則を読む力を備えているのです。最近のロボット研究ではこの点が注目されているようです。

児童心理学は、子どもの言葉を
 大人の言葉に翻訳するためのもの。

私が不変のテーマとしているのが、“人間とは何か”ということです。さまざまなアプローチでそのテーマに挑んでいますが、解き明かすまでには至っていません。心理学は、よく“人間の心を解明していく学問”と言われます。しかし、人間を安易に単純化して見ることに、人間の傲慢さを感じることもあります。とくに、私の専門である子どもの発達という視点から見ると、子どもの言葉を大人の言葉に翻訳するのが心理学であるといえます。大人と子どもの心理学の違いや素人と熟達者の違いなど、興味は尽きません。心理実験を行っていて感じるのは、子どもの“できた・できない”は、大人の判断であって、大人が正解であると決めた回答でなくても、子どもたちは子どもたちなりの考えや視点をもって自信满满に答えています。3歳頃に子どもの行動が大きく変化します。これは、子どもの認知の仕方が変わることに由来のものと思われる。幼稚園や保育所に通う前と後でも行動



違った色と形が描かれたカードやプラスチック製のリンゴ(のおもちゃ)、先生自作の実験材料の絵カードなどを使って、実験を行っています。子どもたちの純な反応と回答には驚きの連続。実験→結果→考察のプロセスから、多くを学び、新たな発見と出会います。

や考え方が大きく変わります。幼少期の教育の現場は、ものの見方・考え方を変える場所でもあるのです。こうした違いは、人間だけに限りません。知能が高い動物として知られるチンパンジーとオランウータンとの間でも見られます。ですから、学生のみなさんには、研究を楽しむと同時に、物事を異なる視点から見ることを学び、新しい発見をしてもらいたいと思っています。それと、先を見て今を見るという意識が必要でしょう。また、研究に直接関係ないことに対してもいろいろなアンテナを張っておくことが重要ですし、人の意見・感想も大きなヒントとなります。学会などで論文を発表すると、「同じような疑問を持っていました」とか、「それはこうじゃないのか」といった意見をいただくことがあり、“そういう視点もあるのか”“その指摘はもっともだ”と気づくこともありますから。これからも、認知心理学から見た幼児教育に関する研究を進め、また、これまでの発達理論をまとめていきたいと思っています。



児童学科NEWS

2007年4月より、児童学科では、小学校教諭1種免許状が取得可能になりました。保育士、幼稚園教諭1種免許状と合わせて3つの免許・資格が取得できます。しかし、これらの取得だけを目的とせず、「児童心理」「児童教育・文化」「児童保健・福祉」などについて、幅広く、かつ深い知識と能力を身につけることを望んでいます。これまでの教育の伝統はそのままだに、現場経験豊かで熱心な教員、実践的な学習が行える施設・設備・環境のさらなる充実を図っていきます。現在、進めているのは、ニュージーランドの幼稚園を実習先とした海外研修です。子ども中心の自由さと環境が設定された現地の幼稚園で6週間にわたる実習を実施し、実践力を身につけるプログラムです。当然ながら、会話はすべて英語ですので、学習がスムーズに行えるよう、ネイティブの先生による「保育英語」などの科目も設置しています。



1928年、大阪市此花区(現・福島区)に、父・貫一、母・勝世の長女として生まれる。
家は祖父の代から写真館を営み、好きな本は父親のツケで自由に入る恵まれた少女時代を送る。
1944年、十六歳であこがれの樟蔭女子専門学校・国文科に入学するが、1年も経たないうちに勤労動員。そして1945年6月の大阪大空襲で自宅が全焼。幸い家族に死者は出なかったが、終戦4カ月後に最愛の父を病で失う。十七歳、樟蔭在学中のこと。
母と弟・妹の4人の生活を支えるため、樟蔭卒業の翌日から大阪の金物問屋で働く。
高等女学校時代から小説を書きはじめ、樟蔭時代、7年間のOL時代も書くことを止めなかった。
1956年『虹』で大阪市民文化新人文藝賞受賞、二十八歳。
1958年『花狩』で初の単行本発行、三十歳。
1964年『感傷旅行』で第50回芥川賞受賞、三十六歳。
以来、恋愛小説、エッセイ、評伝、歴史小説、古典ロマン、家族小説……と、人の世の「ただごと」を「女手」で書き、人々に人生の苦楽を語る田辺ワールドは広がり続けている。
これまでの受賞歴は芥川賞はじめ、女流文学賞、泉鏡花文学賞、井原西鶴特別賞、日本文芸大賞、吉川英治文学賞、蓮如賞、文化功労賞、紫綬褒賞など枚挙に遑がない。
2006年、3回目の全集となる『田辺聖子全集』完結。全26巻151回にわたって放送されたNHK朝の連続ドラマ『芋たこなんきん』は、田辺さんの半生をモデルにしたもので人気を博した。

ただしいことを信条にしたらあかん。 たのしいことをしたらよろし。

(1992年『おかあさん疲れたよ』講談社刊より)

愛する、ということこそ人生の主役であって、そこへくると愛されるってほうは、人生の脇役にすぎない。(2003年『人生は、だましだまし』角川書店刊より)
おっさんとおばはんになり生きやすし。(同上)
田辺ワールドには、キラ星のごとく箴言が輝いている。そのひとつを美しい小さな貝殻のように、心の中にしまっておくと、なんとも豊かに、そして、にがい涙もビターのきいた人生の甘味料になってくる。田辺文学は、私たち読者にとって人生の宝宝箱のようだ。

“まいにち ばらいろ”色紙を頼まれると、このことばをよく書く、という田辺さん。相手が男性だと、“気張らんと まあ ぼちぼちに いきまひょか”
苦労の中でも人生を楽しく「人生は楽しまなきゃ」と、愛しいぬいぐるみ「スヌー」や「オジン」「アマエタ」や「チビスヌ」、トイブードルのマルグリット嬢(通称マルちゃん)、そして美しいガラス壺、人形、ビーズのバッグ、貝合わせ、ドールハウスやちりめん細工、自作の思い出箱や自らペイントした楽しいステッキの数々……「小説家は座業ですから、彩りのあるものを身のまわりにたくさん置いておきたいの」と、美しいもの、楽しいもの、にかこまれて、それ等との何気ない会話の中からも、田辺文学が紡ぎだされていく。

取材でお邪魔した応接室も、田辺ワールドがあふれ、田辺さんのやさしさに、つつまれているようで、何とも言えないやすらぎにひたりながら「人って、生きるって素晴らしいことなんだ!」と、感激の一時をすごさせていただいた。



高等女学校時代に手がけた手書きの小説雑誌。手書きだから一冊しかない。級友たちは順番を待ちながら楽しんでくれたという。表紙の絵も田辺さんが描いた。その他にも大学ノートに物語りを書き、表紙の絵を描き表題をつけて、“著者ごっこ”に熱中していたという。

夢見児の夢のはじまり。

田辺さんが少女時代を過ごした昭和初期は、少女雑誌の全盛期。『少女の友』や『少女倶楽部』『少女画報』など、当時の少女雑誌は、今も田辺さんが敬愛する吉屋信子をはじめ川端康成、吉川英治、佐々木邦などが書き下し、詩のページには西条八十や室生犀星、三好達治などの名も見られる。そして竹久夢二や中原淳一らの美しい表紙や挿画が少女たちの夢を育てた。

自らを「軍国少女だった」と称する田辺さんは「日本の国のために敵地の奥深くまで入っていく血湧き肉踊る少年小説も好きで、弟の少年雑誌をぶんどって読んでましたね」。田辺さんはその中から空想をふくらませ、沢山のヒロインをつくり出して楽しむ「夢見児」だったという。そして次第に母や叔母が読んでいた『婦人倶楽部』や『主婦の友』などの女性誌にまで手をのばし、大人の恋をかき間見るようになっていく。



樟蔭の正門前で卒業記念に友達と。

戦争の最中でも文学への熱い想いを 絶やさなかった樟蔭時代。

「好きな文学が勉強できて、更科日記や清少納言を原文できちんとお講義してくださって、もううれしくてうれしくて、天国のようでしたね」。だが、あこがれの着物に緑の袴、編み上げ靴も一学期だけ。あとはモンペになった。好きで入った国文科だから、学校にいて警戒警報が鳴り、防空壕の中でも古典の話をした。「源氏物語の姫君の中で、誰が好き?」。家をなくし、父を失い、失意の中でも夢中で勉強した。そして卒業すると、家にいる母とまだ幼い弟と妹のために翌日から働き始めた。

樟蔭時代に手がけた「青い壺」の第1号では、本屋で出会った兄の友人に胸をときめかせる二十歳の女性「ゆみ子」を描き、その編集



樟蔭時代に文芸部長として携った『青い壺』は、ガリ版刷りに発展していたが半紙十枚余りを二つ折りにした質素なもので、戦後間もない困窮の中でも失わずに育て続けてきた乙女たちの熱い心がしのばれる。



夜になると自宅の中にある「バーカモカ」のあかりを灯し、2人で呑み、語る「まいにち ばらいろ」の日々。36年間連れ添った、カモカのおっちゃんが最後に残した贈り物「かわいそうに、ワシはあんたの味方やで」と、病に伏しているおっちゃんの前でうかつにも涙してしまったときの言葉。「彼が私に残してくれた最高の贈り物」だと田辺さん。



後記にこう記している。「絶えずお互いを磨き聡明さを失はず、しかも文学を楽しみつつ研究する機関雑誌として『青い壺』を美しく成長させて行きたいと存じます」。少女時代の「夢見児」が文学と正面から向き合っての言葉のようで、「樟蔭の頃が人生の原点だった」とおしゃることの一端に触れたようにも思う。「伊賀校長先生も立派な方でした。“お国のために一生懸命働いたのだから、これからは自分の人生を歩まなくてはいけません。”この言葉にみんな感動しましたね」

「カモカのおっちゃん」のこと。

芥川賞を受賞して2年後の三十八歳のとき、神戸の開業医・川野純夫氏と運命的な出会い。「あの人、人柄は120点やけど、境遇は20

点やわ」と母が評した氏と結婚。以来、文学以外にも氏と共に世界を広げていく。「カモカ連」を結成して徳島の阿波踊りに参加。白雪姫に扮して神戸まつりにも参加した。ツチノコ探検にもでかけた。田辺源氏で古典に新たな息吹を与え、特に「川柳はわれら庶民の、いのちの滴り」と、岸本水府の評伝で「日本文学の素晴らしさを伝えたい」とする一方で、「ひらがなで考えたらいいねんよ」とジュニア向けの作品も数多い。「日本語はとても微妙精巧なもの。古事記や日本書紀など古典に中にはステキな言葉、不思議な言葉が沢山ある。色んな言葉を知っていれば世界が広がり、自分の気持ちを伝えられる。それが生きる喜びだと思う」日本語の素晴らしさを若い人たちに伝えていきたい、と田辺さん。「人間が人間のプロになれる頃には八十にはなっ

ているだろう」(2003年『人生は、だましだまし』角川書店刊より)。田辺さん八十歳の誕生日は2009年3月27日。田辺文学に魅せられた人々が次の作品を心待ちにしている。



初の単行本として出版された『花狩』は、その前に『婦人生活』に連載され、「新人には一流の挿し絵画家を」という社長の方針で、岩田専太郎の絵がついた。三十歳。長い作家修業の中で一条の光明が見えてきた年。芥川賞受賞の6年前のことだ。

卒業生の方々のご活躍の様子をお知らせください。

樟蔭学園は今年で創立90周年を迎えます。日本全国、海外在住の卒業生もいらっしゃいます。様々な分野でご活躍されている卒業生の情報をお寄せいただき、みなさまのお力をお借りして、この「これもびの窓」で幅広い卒業生の姿をお伝えしていきたいと思います。身近でご活躍の卒業生の様子を是非とも樟蔭学園法人本部企画広報室までお知らせくださいますよう、お願いいたします。●TEL 06-6723-8152●FAX 06-6723-8263